

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ねお児童発達支援事業所佐鳴台			
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日		～	令和7年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名 (22世帯)	(回答者数)	26名 (26世帯)
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日		～	令和7年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月9日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広いスペースがあり、運動はのびのびできる。	1日の活動を机上と運動に分けて、活動を行っている。	普段使っていない道具等を使用したいため、体育館を借りていく予定。
2	職員が多いため、手厚い支援ができています。 プログラムが充実している。	個別の対応、個々のレベルに合わせて支援ができています。	職員の個々の質の向上や情報共有をしっかりとっていくこと
3	職員の笑顔、個性がある。 こども園・保育園に送迎をしている。 月1回のおでかけ(7・8月以外)	月2回の会議で、子どもたちの様子や検討事項の話し合い。子どものニーズに合わせて、送迎等組んでいる。	○今後も、懇親会の開催は定期的に年に数回開催できるように検討、準備をしていく。 ○東伊場と協力し、保護者様も参加を楽しめるようなイベントの検討。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	駐車場が狭い。 園庭がない。	駐車場が狭く、事業所前に停めるのが困難。家庭送迎が多い時は、事業所前の道路が渋滞になってしまう。	近隣の駐車場を探している。 渋滞がないよう、誘導する職員をつける 近隣の公園に行っている。
2	参観会や懇談会ができなかった。	事業所が始まったばかりで、職員が慣れていなかった事もあったため。	来年度は、参観会も保育参加会等も行っていく予定。
3	地域交流が少なかった。	地域住民を交えた行事を行っていない。	施設を近隣住民に知ってもらい働きかけをする。 近隣施設の利用をしていく(協働センターなど)